

# 平成25年(2013年) 新春講演会並びに賀詞交歓会

## 総務委員会

去る平成25年1月25日(金)、仙台ガーデンパレスにて東北地質調査業協会、社団法人全国さく井協会東北支部、社団法人斜面防災対策技術協会東北支部の3協会合同による恒例の新春講演会及び賀詞交歓会が開催されました。

新春講演会では、講師に宮城県土木部次長の鷲巣俊之様をお迎えし、「東日本大震災からの復旧・復興 - 宮城県の取り組み -」と題して、1) 東日本大震災による被害状況、2) 宮城県社会資本再生・復興計画について、3) 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築について、4) 復旧・復興の進捗状況について、5) 復興に向けた課題と対応について、の各内容についてご講演を頂きました。

冒頭、宮城県東部土木事務所管内における道路や河川・海岸などの公共土木施設の被害状況及びその応急復旧状況について説明があり、がれきの除去と遺体の捜索を並行して対応せざるを得なかった発災当初の状況や、地震による地盤沈下のため災害にさらされる危険性が高まっている中での出水期の洪水対策の話など、現場で直面した多くの貴重な事例を紹介して頂きました。

それに引き続き、気仙沼合同庁舎4Fから撮影された気仙沼市街地を襲う津波の生々しい映像が紹介されました。参加者は食い入るように画面を見つめ、あらためて津波の恐ろしさを再認識させられたものと思います。

締め括りには、「今回の東日本大震災という想定を遥かに超えた大災害における様々な情報について、そこから得られた教訓を後世にしっかりと伝承していくことが大変重要である」との貴重なメッセージを頂き盛会のうちに講演会は幕を閉じました。

引き続き行われた賀詞交歓会は、近年では最多となる3協会総勢103名が参加し大変な賑わいとなりました。

開会に際し、3協会を代表して当協会理事長の早坂功氏が挨拶に立ち、「今年は復興が目に見える年にすべく、大変忙しい1年となることが予想される。参加者各位が協力しあい復興に貢献しよう」との力強いメッセージが発せられ、続いて社団法人斜面防災対策技術協会東北支部長(当協会副理事長)奥山和彦氏による乾杯の発声で宴席がスタートしました。

久々の再会に互いの近況を確認しあう姿や、この季節恒例の東北各県から集まった会員による各地の積雪状況の話題を肴に酒を酌み交わす姿が見られ、終始和やかな賀詞交歓会となりました。

締め括りは、社団法人全国さく井協会東北支部長(当協会理事総務委員長)の大友秀夫氏が、「市場が活況を呈する中、ただ忙しく走りまわるのではなく、適正な利益が得られ、若い世代にとって魅力的な業界としていくための努力が不可欠である」と挨拶し、3協会員及びそのご家族の健康と健勝を祈念した手締めを行い、盛会のうちにお開きとなりました。



講演会の様子



賀詞交歓会の様子